



目的別/1 日研修

Revised

実践的！ 政策法務研修

自治制作の実現のために

▶ 本研修の概要とねらい

法律知識を基礎として自ら法令を解釈・運用し、規則や条例を制定するなど、まちづくりの戦略に基づいて法務行政を行うことができるよう政策法務能力を習得する。

▶ 主なコンテンツ

自治体とは何か、自治体職員とは何か、自治体職員は法律のプロ、自治体職員に求められるスタンス、事例から考えてみる、民主主義の最後の砦 など(詳細は裏面のタイムテーブルをご参照ください)。

▶ 演習/実習の内容

- ・演習問題
- ・事例討議

▶ 受講対象(推奨)

一般職員



一般社団法人 日本経営協会講師
関山 祐介(せきやま ゆうすけ)

早稲田大学システム科学研究所 システム分析・早稲田大学 ECWU MBA エッセンシャルコース修了。2002年 社団法人日本経営協会経営研究センター自治体経営研究所課長を務める。総務庁 行政評価・行政手続法プロジェクト推進業務を担当。現在、一般社団法人日本経営協会 チーフ・コンサルタントとして活動。その後独立し現在に至る。

全能連認定経営コンサルタント。

産業広報センター地域政策研究所研究員

沖縄大学地域研究所研究員

厚生労働省認定 日通連 経営管理1級インストラクター

本講師の他の研修

- 公務員倫理
- モチベーションアップ
- ロジカルシンキング

実践的！政策法務研修

1日研修タイムテーブル案

研修テーマ	主なコンテンツ
1. 自治体とは何か【講義】 ・憲法・地方自治法	☞実は、とても面白い、憲法と自治法の定義や裏話 ほか
2. 自治体職員とは何か【講義】 ・地方公務員法	☞自治体職員として、法律を読み解き、ことにあたって、根拠を確認し、執行を担保できる力を持つことの必要性を学ぶ
3. 自治体職員は、法律のプロ【講義】 ・例えば行政書士法を見してみる ・知っておかねばならない一般法規	
4. 自治体職員に求められるスタンス【講義】	
5. 事例から考えてみる【演習】 ～法を使いこなすために～ ・演習問題 ・事例討議	☞演習問題で示す制度や条例の法的根拠、解釈、メリット・デメリット、リスク、リスク回避策などについて議論する ☞実際に起こった事例を基に執行部としてどう対応すべきか検討する。
6. 民主主義の最後の砦	

■本研修を受講した研修生の感想

☞法律を使いこなすことの大切さを再認識しました。

☞演習問題・事例討議を通じて、研修内容を業務で活かしていく自信ができました。

☞今更ながら、法律は面白いと思いました。法に抵触するかどうかばかりを考えていたが、法は活用してこそ価値。自治体の真骨頂はそこにあると実感しました。

■本研修コーディネーター担当者からのワンポイントメッセージ

☞実際に事例を見て検討し、グループで議論を行うことで、法的根拠や解釈、メリットデメリット等について深く考えることのできるプログラムです。

本研修に関するお問い合わせ

一般社団法人 日本経営協会 関西本部
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4(大阪科学技術センタービル)
電話 06-6443-6925 FAX 06-6441-4319
URL <http://www.noma.or.jp>